

# TTC提案山行計画表

[2012年4月5日 川越茂人 立案]

1. 山行計画名	<b>北ア 穂高岳縦走 (北穂高岳・奥穂高岳・前穂高岳)</b> [3,190m 長野県]
2. 目的	涸沢～北穂～奥穂～前穂～岳沢、高度感ある岩稜縦走 (日本百名山)
3. 期日	2012年7月28日(土)～31日(月) 2泊3日 交通アクセス:マイカー
4. 募集対象者	レベル:★★★☆☆ 募集人員:8名まで <b>悪天候の場合は中止にします</b>
5. パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真: 氏名削除
6. 歩行/行動時間	◆7/28 6:50/8:00 (ガイドブック6:10) ◆7/29 6:30/7:50 (ガイドブック5:35) ◆7/30 8:10/10:00 (ガイドブック7:10)
7. 集合場所・時間	厚木市内各所: 7/28(土) 3:30頃
8. 解散場所・時間	厚木市内各所: 7/30(月) 23:40頃
9. 費用 約29,000円 (4名参加時)	[内訳] 車両使用料(¥10×480km) ¥4,800、燃料費(¥155×480km/8km) ¥9,300、ドライバー謝礼(¥5,000×2日) ¥10,000、駐車場代¥1,500、バス代(¥1,200×4名×往復) ¥9,600、高速代(往路2,600×往復) ¥5,200、 宿泊費: 涸沢小屋 (@9,000×4名) ¥36,000、穂高岳山荘 (@9,000×4名) ¥36,000、入浴代 (@500×4名) ¥2,000 予備費¥1,600 (@400×4名) <b>合計¥116,000-</b> (¥29,000/1名)
10. 行程 [日の出入り]	<p>◆ 7/28 (土)</p> <p>1:00 0:10 トレ朝食 0:40 1:00 出口 1:30 0:30</p> <p>本厚木====相模湖IC====談合坂SA====双葉SA====松本IC====沢渡====(バス)====</p> <p>7/28 長野県 3:30 4:30 4:40～5:10 5:50～6:00 7:00 8:30 8:50 発</p> <p>トレ休 1:10 1:00 朝食 1:20 1:20 1:10 0:50</p> <p>バスターミナル—明神—徳沢—横尾—本谷橋—Sガレ—涸沢小屋(泊)</p> <p>9:20～9:35 10:45～55 11:55～12:25 13:45～55 15:15～25 16:35～45 17:35</p> <p>◆7/29 (日)</p> <p>1:20 2:00 0:20 2:20 朝食 0:30</p> <p>涸沢小屋—南稜鎖場—南稜分岐—北穂高岳—涸沢岳—穂高岳山荘(泊)</p> <p>6:00 7:20～7:30 9:30～9:40 10:00～10:20 12:40～13:20 13:50</p> <p>(天気が良く、気力・体力が残っている場合は希望者で奥穂高岳往復)</p> <p>◆7/30 (月)</p> <p>0:50 2:00 0:50 0:30 朝食 2:00 1:50</p> <p>穂高岳山荘—奥穂高岳—紀美子平—前穂高岳—紀美子平—岳沢小屋—</p> <p>5:30 6:20～40 8:40～9:00 9:50～10:00 10:30～11:00 13:00～13:10</p> <p>0:10 0:30 0:10 1:30 1:00 食事 0:40</p> <p>河童橋—上高地バスターミナル====バス====沢渡====お風呂====松本IC====双葉SA====</p> <p>15:00～15:20 15:30～15:40 16:10～20 16:30～17:30 19:00 20:00～20:40</p> <p>0:30 1:00</p> <p>談合坂SA====相模湖IC====厚木市内各所</p> <p>22:00～10 22:40 23:40</p>
11. コース概念図	<p>至 上高地</p> <p>至 横尾・上高地 1507</p>
12. 1/25000 地形図	穂高岳、上高地
13. 問い合わせ先	涸沢小屋:090-2204-1300、穂高岳山荘:090-7869-0045
14. 共同装備	医薬品一式、ツェルト、携帯電話
15. 個人装備	防寒着、雨具、ザックカバー、手袋、テレス、着替、ハットラフ、地図、コンパス、計画書、時計、財布(現金)、筆記具、健康保険証/ブリアカード、スパッツ、ソックス、カマ、クワ、ロープ、ポリ袋、昼食、行動・非常食、ストック、温泉セット、アゼン(6本爪)
16. 募集締切日	5月例会(5/19(土))
17. 説明会	4月例会(4/21(土)) 電子版配布(4/16)
18. 特記事項 特に危険な箇所: ①北穂高-涸沢岳間、②前穂高重太郎新道下り	<ul style="list-style-type: none"> <li>北穂高-涸沢岳間は穂高岳登山ルートの中なかで、奥穂-西穂ルートに次いで、険しい岩稜核心部となっています。高度感もあるので、岩登り技術を会得しているメンバーが対象です。</li> <li>各小屋昼食の弁当が頼めます。(1,000円)</li> <li>アゼンの要否は残雪の状況により判断します。</li> </ul>

